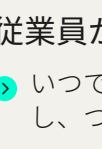


最新のワイヤレスワークプレイスにビジネスを対応させましょう。

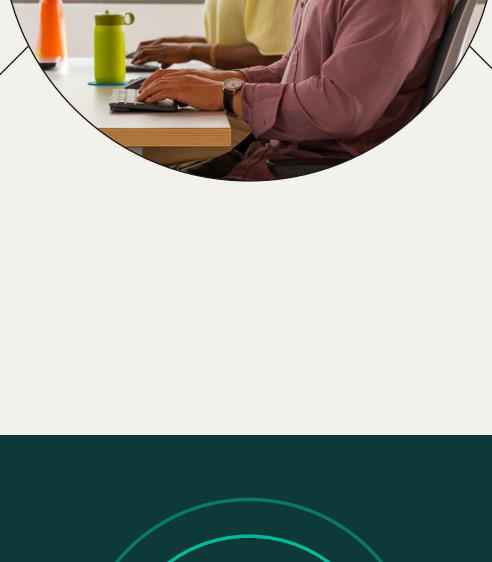
より騒がしいオフィススペースに対応しながら、従業員をサポートし、生産性を向上させるための、最新のビジネス向けに設計されたネイティブ Bluetooth® ヘッドセットの活用方法。



フルタイムまたは週数日の割合でオフィスに復帰する従業員が、これまで以上に最高の状態で業務をこなせるようになります。

従業員が求めるもの：

- ① いつでもどこでも、自由に移動し、つながり、働けること。
- ② 質の高い通話とコラボレーションを実現する、信頼性の高いテクノロジー。
- ③ 気が散ることを最小限に抑え、生産性を最大化。



つまり、以下を実現するワイヤレスヘッドセットが必要です。

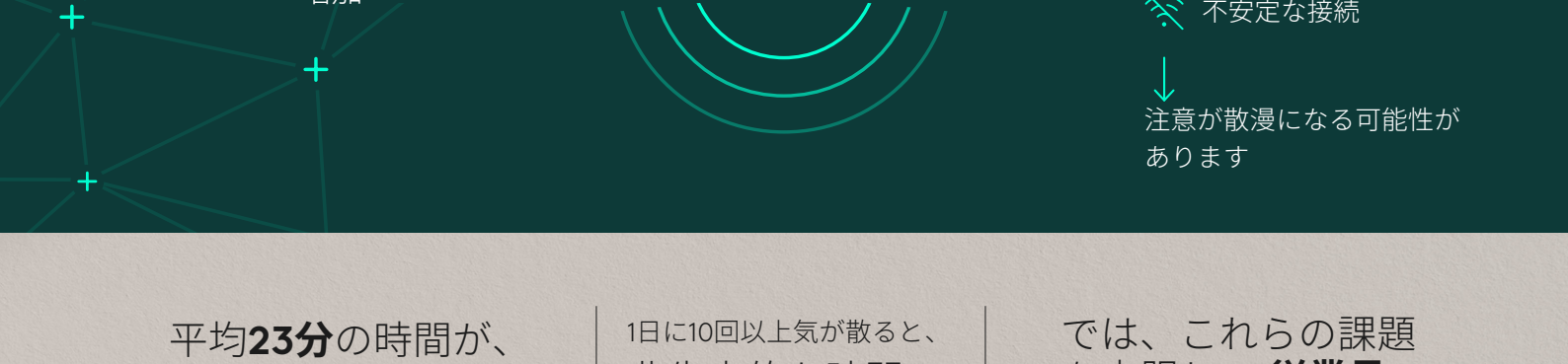
- ① さまざまな環境で通話やコラボレーションを行える。
- ② オープンなワークスペースの雑音を遮断して、集中力を高める。
- ③ それぞれの職務のニーズや個人的な好みを満たす。

しかし、オフィス内の従業員やワイヤレスデバイスが増加すると、以下が生じます。

- ① 騒がしい環境。
- ② さらに気が散る。
- ③ ワイヤレスの混雑や干渉。

そのため、次のような問題が発生します。

- ① 従業員のいらだち。
- ② 生産性の低下。
- ③ サポートチケットの増加。



平均**23分**の時間が、（周辺雑音や技術的な問題により）従業員の注意が散漫になった後、集中力を取り戻すためにかかります

1日に10回以上気が散ると、非生産的な時間は、**ほぼ4時間**にのびます¹。

では、これらの課題を克服し、**従業員を満足させ続ける**にはどうすればよいのでしょうか？



ビジネスを最新のワイヤレスワークプレイスに対応させる方法。

ワイヤレス密度への対応と、オフィス内外で従業員に最適な環境を提供するために、次の4つの重要な質問について自問してみてください。

1

あなたのオフィスとそのネットワークの設備は、増大するワイヤレス通信対応していますか？

講じるべき対策：

- ルーターなどのデバイスを5GHz帯のWi-Fiに切り替えて、Bluetoothデバイスが使用する2.4GHz周波数帯の混雑を緩和します。
- ワイヤレスデバイスとデスクを、さまざまなオフィスエリアに分散配置して、干渉を最小限に抑えます。
- 帯域幅とワイヤレス通信可能範囲が、需要の増加に対応できるようにします。



2

各デバイスに最適な接続方法を検討しましたか？

講じるべき対策：

- 使用していないBluetoothやWi-Fi機能を可能な限りオフにします。
- すべてのBluetoothデバイスを最新のBluetooth規格に更新したことを確認します。
- 移動することが少ない固定デバイスには、ワイヤレス密度を下げるために、有線Ethernet接続の使用を検討します。

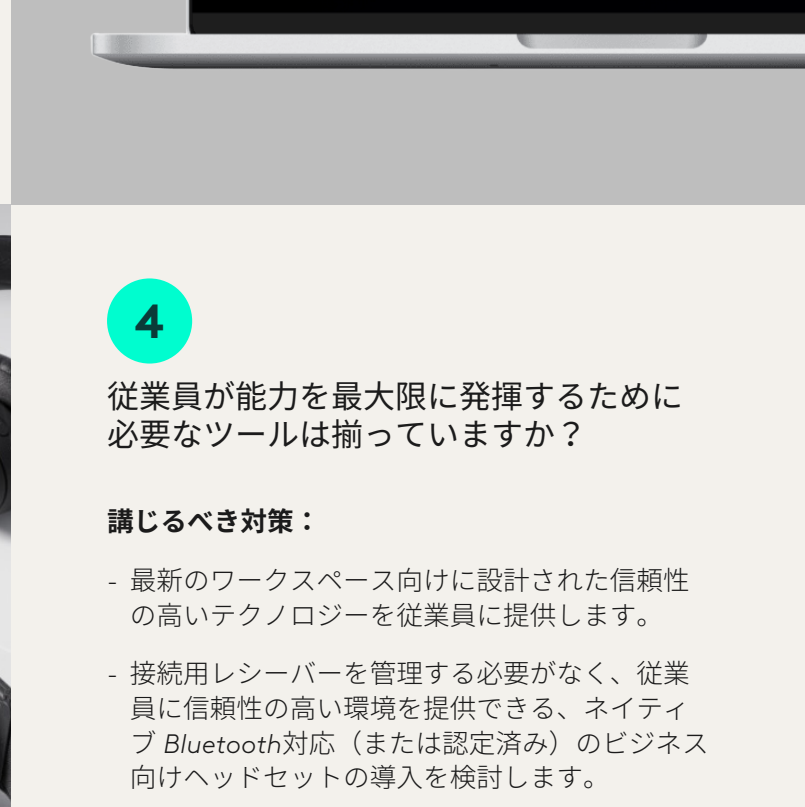


3

デバイスは最新であり、従業員は十分な知識を習得済みですか？

講じるべき対策：

- ワイヤレスデバイスファームウェアを定期的に更新して、ヘッドセットのパフォーマンスを向上させ、発生する可能性のあるバグに対処します。
- 未知のデバイスとのペアリングや、信頼できないソースからのアプリケーションのダウンロードなどを含む、Bluetoothのセキュリティに関するベストプラクティスを従業員に周知徹底させます。
- 干渉を回避するためのヒントなど、ワイヤレスデバイスを最適に使用方法を規定し、従業員と共有します。



4

従業員が能力を最大限に発揮するために必要なツールは揃っていますか？

講じるべき対策：

- 最新のワークスペース向けに設計された信頼性の高いテクノロジーを従業員に提供します。
- 接続用レシーバーを管理する必要がなく、従業員に信頼性の高い環境を提供できる、ネイティブBluetooth対応（または認定済み）のビジネス向けヘッドセットの導入を検討します。
- アクティブノイズキャンセリングテクノロジーを搭載したワイヤレスヘッドセットを選択し、周囲の騒音を遮断して気が散らないようにします。さらに、ノイズキャンセリングマイクを選択して、騒がしいオープンオフィス環境でも従業員の声がクリアに聞こえるようにします。



94%のIT部門の意思決定者は、コミュニケーションやコラボレーションの最新ソリューションへの投資がチームコラボレーションを促進させると考えています²。

93%が、より優れたコラボレーションソリューションの導入により、従業員のエンゲージメントと満足度にプラスの影響があったと回答しています³。

94%の組織が、2026年末までにプロフェッショナル用ヘッドセットに投資すると予想されます⁴。

65%が、これらの投資を増やす計画があります⁵。

ロジクルのネイティブ Bluetooth ヘッドセットをご覧ください

ロジクル Zone ヘッドセットの設計は

40 年ちかくにわたるオーディオの革新に基づいており、今日の混雑しているワイヤレス環境や最新のワークスタイルでの要件を満たす、業界トップレベルのパフォーマンスを提供します。

自動化された実際の設定でのテストとベンチマーク試験を経て、ロジクルのワイヤレスヘッドセットは、最高レベルのBluetoothセキュリティ規格とネイティブ Bluetooth接続を提供し、以下を実現します。

- ① シームレスな接続。接続用レシーバー不要。
Microsoft Teams 認定を取得しており、Google Meet へのネイティブ Bluetooth 経由の通話コントロールがサポートされているため、従業員は高品質のオーディオに加え、接続用レシーバーなしでミュート機能や通話の応答・終了などの同様の通話体験を楽しむことができます。
- ② ITの簡素化。サポートコストの削減。
ネイティブ Bluetooth ヘッドセットはプロビジョニングと管理が容易であるため、導入の効率化、コストの削減、紛失した接続用レシーバーに関するサポートチケットの削減が実現します。
- ③ サステナブルデザイン
Zone ヘッドセットはポストコンシューマリサイクル（PCR）プラスチックや交換可能なパーツを使用してカーボンフットプリントを削減し、製品寿命を延ばしています。また、接続用レシーバーが不要なヘッドセットであるため、プラスチックと電子部品の使用量が減少します。

④ ネットワーク負荷の軽減。干渉の削減。
Zone ヘッドセットは法人ビジネス向けに設計されており、1,000平方メートルあたり60ユーザーのワイヤレス密度と、平均通話トラフィック50%の環境に対応可能です。

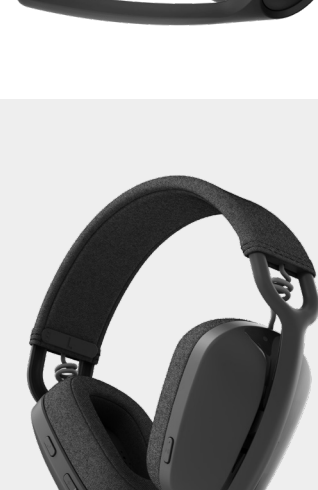
自信を持ってロジクルを選択してください。
17フロア当たり100件を超える通話が行われるオフィスでは、当社の専門家がワークスペースのワイヤレス密度をシミュレーションし、お客様のニーズに合わせた信頼性の高いヘッドセットパフォーマンスの実現に不可欠な要因を特定します。ロジクルと提携して、手探りでヘッドセットパフォーマンスを引き出す必要性を排除しましょう。

最新のオフィス用に設計されたヘッドセット

ロジクル Zone ヘッドセットは、エントリーレベルから上級モデルに至るまで、ネイティブ Bluetooth接続を提供します。貴社のニーズを満たす製品を見つけてください。



Zone 305

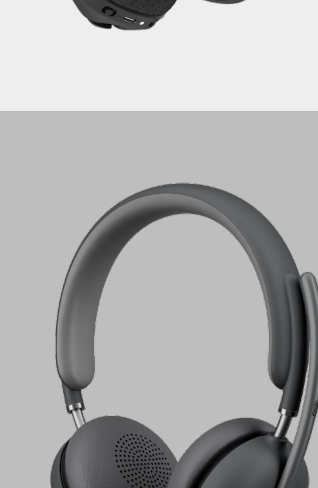


軽量で信頼性の高い、大規模展開に最適な Zone 305は、高品質なオーディオと、通話が中断しない長距離接続を必要とする従業員に最適です。

[詳細はこちら](#)



Zone Vibe Wireless

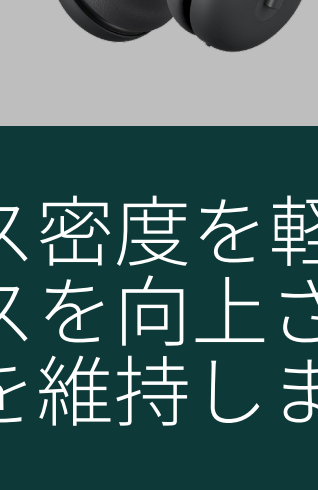


今日の作業環境向けに作られ、没入感のあるオーディオと、いつでも1日中、使用できるスタイルッシュで快適なデザインを備えた、モダンなオーバーイヤーヘッドセット。⁴

[詳細はこちら](#)



Zone Wireless 2



AI ノイズ抑制、4本のノイズキャンセリングマイク、ハイブリッド ANC などの機能により、高度なスキルを持つ従業員が気を散らすことなく作業に取り組めます。また Zone Wireless 2 は、ワイヤレス密度が高い環境などで、必要に応じて付属のケーブルをつないで有線ヘッドセットとしても使用できます。

[詳細はこちら](#)

ワイヤレス密度を軽減し、パフォーマンスを向上させ、従業員の満足度を維持します。

貴社の従業員とワークスペースに適したロジクルヘッドセットを見つけて、今日のネイティブ Bluetoothテクノロジーのメリットを詳しくご覧ください。

[ネイティブ BLUETOOTH ヘッドセットを見る](#)

出典：1.ライフハッカー 2.ロジクル 3.Frost & Sullivan 2024 UCC Buyers Perspectives（2024年5月） 4.Microsoft Teams 認定（ネイティブ Bluetooth 接続）を申請中です。

©2025 Logitech, Logitech 株式会社ロジクルは、ロジクルグループの日本地域担当の日本人です。ロジクル、Logi、およびロジクルのその他のすべての商標および各ロゴは、Logitech Europe S.A. および/または米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ロジクルによるこれらのマークの使用はライセンス許諾に基づいています。Google Meet は Google LLC の商標です。Microsoft Teams は Microsoft Corporation の商標です。その他のサードパーティ商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。